

《 コラム 》 Vol.47

鏡の法則

今回はノビサックとは関係ないお話ですが、暫しお付き合いください。
ちょっと不思議な話と思われるかもしれません。
でも、たぶん真実です。

皆さんも鏡は毎日使用されていると思います。
身体のお手入れに鏡は欠かせません。
特に顔のお手入れには重要なアイテムですね。

鏡をのぞくと、そこには自分の顔が映っています。
当然のことながら、鏡の前の自分が笑えば、鏡に映る自分も笑っております。
鏡に映る顔が先に笑って、その顔がおかしくてつい自分が笑ってしまう人はいないはずですね。
自分が笑うと、鏡に映る自分が笑います。

鏡の物理的原理は、光の反射で自分の顔が映っています。
皆さんご存知の通り、光は電磁波という波の一種です。
最近の科学では、人の感情（心）も「波のようなもの」という事が分かってきました。

波のような人間の感情は、眼では見えませんが、
光と同じように鏡で感情も反射されているそうです。
つまり、自分が楽しく感じていると、鏡に映る自分も楽しい感情になります。
鏡の前の自分が嬉しいと、鏡の中の自分も嬉しい、
鏡の前の自分が悲しいと、鏡の中の自分も悲しい。
何となく分かりますね。

ここからちょっと話が変わります。
自分が笑うと、鏡に映る自分が笑います。
時間軸で考えると、自分が先で、鏡の中の自分は後になります。
つまり、鏡に映る自分は「未来の自分」を映しております。（鏡、スゲー！！）

突然ですが、皆さん幸せになりたいですか？
おそらく不幸になりたい人はいないと思います。
人は誰でも「幸せになりたい」と思っているはずです。

で、ここで恐ろしいことが分かります。

もし、鏡の前で「幸せになりたい」と思ったとしましょう。

すると鏡の中の自分も「幸せになりたい」と感じているはずで

先にお話ししましたが、鏡は自分の未来を映しだしています。

お分かりでしょうか・・・

「幸せになりたい」自分が未来にいます。

つまり・・・幸せではありません。

もう一度言います。

「幸せになりたい」自分が未来にいるので、幸せではありません。

未来の自分が「幸せになりたい」と思っています。

そうなんです。

「幸せになりたい」と思ってしまうと、

いつまでも「幸せになりたい」が続いてしまい、

いつまでたっても幸せになる事は出来ません。(恐ろしか～)

ではどうしたら幸せになれるのか？

これは簡単明瞭！

今、「幸せ」を感じれば良いのです。

そうすれば鏡の中の自分(=未来の自分)は幸せになります。

今日も鏡の前では「幸せ」を感じて下さい。

必ず未来の皆さんは「幸せ」になっています。

めでたし、めでたし。

ノビサックは指サックという物で、感情はないかもしれません。

でも、もしノビサックに「幸せ」という感情があるとしたら・・・。

ノビサックが幸せを感じる時・・・

それは、「誰かの指先のストレスをなくせた時」だと思います。

話が長くなりますので、今回はこの辺で。